

会議録

○事務局 教育委員会教育部放課後対策課 電話：03(3981)1058

付属機関又は 会議体の名称	令和元年度 第2回子どもスキップ運営協議会	
事務局（担当課）	教育委員会教育部放課後対策課	
開 催 日 時	令和2年3月10日（火）午後4時30分～午後6時	
開 催 場 所	区役所本庁舎8階 レクチャールーム	
議題	<p>1 開会</p> <p>2 (1)子どもスキップ（学童クラブ）の運営状況報告 (2)課題 (3)各委員による意見交換</p> <p>3 閉会</p>	
出席者	委員	<p>白熊千鶴子（豊島区青少年育成委員会連合会 副会長）</p> <p>根岸幸子（豊島区青少年育成委員会連合会 第6地区常任幹事）</p> <p>豊島佳代子（豊島区青少年育成委員会連合会 第2地区幹事）</p> <p>三原真理子（豊島区青少年育成委員会連合会 第8地区幹事）</p> <p>伊東博昭（高松小学校校長）</p> <p>堀込広明（小学校PTA連合会副会長）</p> <p>藤井芳子（駒込放課後子ども教室地域コーディネーター）</p> <p>西野幸江（池袋本町小学校学校開放運営委員会委員長）</p> <p>田中真理子（子ども家庭部長）</p> <p>金子智雄（教育長）</p> <p>兒玉辰哉（教育委員会事務局教育部長）</p> <p>小澤さおり（子ども家庭部子ども若者課長）</p> <p>高桑光浩（教育委員会事務局放課後対策課長）</p>
	オブザーバー	<p>松浦和代（高田地区 主任児童委員）</p> <p>栗林知絵子（特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 理事長）</p> <p>目白警察署 生活安全課（欠席）</p> <p>森伸行（巣鴨警察署 生活安全課長）</p> <p>関根恵美子（池袋警察署 生活安全課 少年係長）</p> <p>佐藤明子（教育委員会事務局指導課長）</p>
	事務局	<p>斉藤英子（子どもスキップ目白所長）</p> <p>馬場智恵（子どもスキップさくら所長）</p> <p>桑原由貴子（放課後対策課児童支援係長）</p> <p>早川裕太（放課後対策課係員）</p> <p>小林弥生（放課後対策課係員）</p>

1 開会

高桑委員から開会の挨拶

2 各委員による自己紹介

3 (1) 子どもスキップ（学童クラブ）の運営状況報告

資料「区立小・中学校の休校に係る放課後対策課の対応及び実施状況について」

(2) 課題

(3) 各委員による意見交換

以下経過

○教育長

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、日々刻々と状況が変わっている。学童は継続していくが、子どもたちの密集を避けるのは難しい状況である。そういった状況の中でも、校舎内で複数の教室を利用して子どもたちが密集しないように努めている。人員についても、他の課から職員の応援を募りながら学童クラブ運営を行っている。スキップに関することではないが、新しい取り組みとして2点紹介する。1点目は、学校の給食設備を使用して学童クラブでカレーライスを提供することである。小学校の休校に伴い給食がなくなり、食材のキャンセル料が発生してしまった。国からの要請ではあるが、最終的に休校の判断をしたのは区であるため保護者にキャンセル料の負担をかけるのではなく、公費でキャンセル料を負担することにした。キャンセルできなかった大量の豚肉が余ってしまいどうにかできないと考え、学童でカレーライスを提供することとした。学校給食としてではなく臨時の食事提供であるが教室や学童を利用して大人は200円、児童は100円でカレーライスの提供を行う予定である。

2点目は就学援助の対象となっている世帯に対し、臨時休校期間中に昼食費を支給することである。普段は給食費の援助を行っているが、臨時休校期間中の家庭での食費は保護者の負担となってしまう。そこで家庭の負担とならないように昼食費を一律500円支給することが決まった。

毎日変化があるが、スキップの職員と安全な運営に努めていく。

○Aオブザーバー

子育てサロンも感染拡大の影響で閉鎖となり、親子の居場所がないことが課題になっている。校庭開放は子どもたちが思う存分遊べるのでありがたく思っている。

○委員長

(放課後対策課の対応及び実施状況の説明について) 委員のご意見を伺っていく。

○B委員

学童の狭い部屋にたくさんの子が入っていて大丈夫かと思ったが、体育館や教室も借りられるようになりよかったと思う。正規職員が1人しかいない施設もあり、2人以上正規職員がいた方がいいのではないか。

○C委員

高松小学校は学童クラブの定員 91 名に対して、4 割から 5 割の出席割合であるが、子どもたちの接触はどうしても避けられない。校庭開放、個人開放は 100 人くらい来ている。他校や他区の子どもが来ていたり、年齢の高い子どもが来ている。人数制限はしていないが、時間ごとで分けるなど工夫する必要がある。学校としても職員がどのように見守りに携われるかを考えている。

○D委員

池袋第三小学校を見てきたが、校庭開放に約 150 人が集まってきていた。池袋第三では高学年・低学年と前半後半にわけて分散する方法をとっているようだ。子どもたちが近づいて遊んでいるシーンがあったが、距離を離して遊ばせるのは難しいと感じた。

○E委員

学校開放では子どもたちがたくさん遊んでいる。中学生は近くの公園で遊んでいたりと、校庭開放には来ていなくても自分たちで居場所を見つけているように感じる。校庭開放で遊びに来た子どもは、一般利用のように室内に入って遊べないので、外や中でメリハリをつけて遊んでいた子どもには少し大変なようだ。

○F委員

団体利用が中止になっているが、利用団体も利用できる場所が欲しいようだ。

○委員長

子どもたちを離して遊ばせるのは難しく、マスクと消毒をしてもらっている。区民ひろばからも職員の応援に来てもらっていて、折り紙や将棋が得意な職員もいて子どもたちが喜んでいる。職員は必ずマスクをし消毒するというをしっかり守り自分たちで気を付けようと注意しあっている。

○Gオブザーバー

(新型コロナウイルス感染拡大をうけて) 子どもたちも保護者もストレスを抱えていることが多いが、少し話すだけでもストレスが軽減することがある。有事の際は 110 番をしてほしい。

○Hオブザーバー

人員も限られてはいるが、何か懸念事項があればその都度対応させていただく。

○Iオブザーバー

小学生は午後遊んでいる姿を見るが、中学生・高校生の姿はわずかである。子どもたちは何をしているのかなと思う。中学生のお母さんから、ゲーム通信でどこでも遊べるので家で 8 時間も 9 時間も友達と会話しながらゲームをしていると聞いた。学校の指導があったのか分からないが、公園に行ってはダメだと言っているの、公園が行ってもいい場所になるといいと思った。

○Aオブザーバー

幼稚園も保育園もお母さんたちがいっぱいいっぱいで大変だという声を聞く。

○子ども若者課長

子ども若者課としては中学生の居場所としてジャンプを紹介しているが、ジャンプは学校の休校とともに休館となっている。マイクを使うバンドや卓球など感染リスクが高い施設でもあるので休館としている。区としても中学生の居場所作りを考えていかなければいけないと感じた。

○子ども家庭部長

中高生の居場所が今ないということで、外で受け入れられるような場所ができないかと頭を痛めている。食の確保については教育委員会にもいろいろしてもらっているが、子ども食堂の支援もしているので、次の一手が打てないかを考えている。

○教育部長

教育委員会として今までなかった事態である。子どもの居場所の確保と安全の確保のバランスが難しく、子どもの安全を守りながらストレスが無いような環境を確保しようと悩みながら方針を立てた。登校日は学習や健康面のフォローとして設けている。子どもの遊び場がなくなってしまうので校庭を開放している。未曾有の事態であり、感染予防と子どもの安全確保のリスクをどうとるかということで、中学生の居場所などは課題だと思っている。区の施設や部活動の再開については、コロナの感染の状況を見ながら決定していきたいと思っている。

○指導課長

ちょうど年度の変わり目で、日々の活動もだが、卒業式や終業式など人生の節目であるので、感染症を防止しながら温かく送り出してあげたいと思っている。

○委員長

現場の話を知りたいと思う。

○子どもスキップ千早所長

子どもスキップ千早の現在の登室状況は約40～50名程度である。部屋が狭いため、学校から家庭科室、校庭、体育館も使用していいとのことで分散して使っている。場所を分散すると職員も必ず付かなければいけないため、常時3か所くらいに分かれて運営している。一部屋10人程度で遊べるようおもちゃを分散している。子どもたちの遊びを分散させるということで、職員も遊びに入るというよりは見守りを強化している。お弁当も分けて食べるようにテーブルも工夫している。区民ひろばの職員が手伝いに来てくれる。学校の支援教員の方も来られる日に手伝いに来てくれる。

○放課後対策課 児童支援係長

区民ひろば課や子ども若者課など各課からの応援、教育支援員、学校の先生の応援を受け入れ調整を行っている。学童クラブに臨時で入りたいという方も30名以上いるため、そういった対応で日々刻々と変化する状況に対応している。

○委員長

小学校やスキップでも心配事があるが、小学校を卒業した中学生も心配である。日ごろは部活動をやっていると思うが、新型コロナウイルスの影響で、中学生が頼りだされているような気がする。

○教育長

中学校も毎週1回臨時登校をしてもらっているので、先生方に異常がないか見てもらい、ずっと家にいるのかなどを聞いてもらえればと思っている。中学の校庭はガラガラなので何かできないかということだが、昔のような自由な校庭開放をした場合に大丈夫なのかといった声が校長先生から出てきている。地域の皆さんのお力をいただければ中学校の見守りもでき警察の方へも負担がかからないようにできるのかなと思っている。

○I オブザーバー

プレイパークにいと中学生で朝からご飯を食べていなくてふらふらだという子が夕方に来ている。家でなかなかご飯を準備できない子どもが一定数いるのだらうと思う。給食が1か月ないので何かできたらと思う。

○委員長

子ども食堂は今中止か。

○A オブザーバー

子ども食堂の中では食べられないが、予約の電話をすればテイクアウトができるようになってきているところもある。就学援助は受けていないが、貧困家庭で大変だということで、両親が共働きで昼食の準備ができないという家庭は、私たちがそういった子ども食堂を紹介してお昼を食べられるようにしている。どこかしらで助けを求めている人がいるので、その人たちをいかに発見して手を差し伸べられるかと考えている。

○子ども若者課長

子ども食堂ネットワークを作っていて、区内の20の子ども食堂が登録している。子ども食堂を休んでいる団体をホームページで公開しているが、今は12の団体が休みとなっている。今まではネットワークに入っていなかったけれどこういった状況で何かできないかと相談を受けている。通常はネットワークに載らないけれど知らせたい情報もあり、区のホームページに載せている。周知したい情報があれば是非情報を知らせてほしい。

5 閉会